

ハッケン！ 都内の区市町村社協の取組み

～令和7年度 地域課題への取組み状況アンケート結果から～

東京都社会福祉協議会ではコロナ禍の令和3年度より、都内区市町村社協へ地域課題への取組み状況アンケートを実施してきました。コロナ禍の影響が少なくなり、地域における活動が再度活発化している今、コロナ禍で顕在化した地域課題の解決だけでなく、地域共生社会をめざし地域で活動したい人・活躍したい人の参加を促すことも求められています。困りごととしてのニーズだけでなく、なにかやりたい人を活動につなげることもニーズととらえ、今回の「地域課題への取組み状況アンケート」を実施しました。

アンケート結果から、都内区市町村社協が感じている地域のニーズと、地域課題と捉えて取り組んでいるものを6つのカテゴリーにわけて紹介します。

調査期間	令和7年10月23日～12月12日
調査対象	都内区市町村社会福祉協議会
回答数	62社協（回収率：100%）





- ▶ 高齢者、障害者、ひきこもりがちな方、依存症のある方、子育て世代、中高生等の若者世代などさまざまな分野、世代への居場所づくりに取り組んでいる。
- ▶ それぞれの世代・分野だけでなく、世代間交流を生み出せるよう、工夫している取組みもみられた。(例：高齢者を対象としたサロンに子ども達も参加できる企画を盛り込む、など)
- ▶ 美術館や芸術などの福祉ではない他分野との連携での取組みに挑戦している。
- ▶ 課題を感じた市民が自ら居場所づくりに関わっている例もある。



こんなことに取り組んでいます (調査結果の一例)

① 中高生・中高生以降の若者の居場所づくり (港区)

● 内容・きっかけ

小中学校時代不登校だったり、学習支援に参加していた子どもたちが、対象年齢を外れるとそれまで行っていた居場所に行けなくなることにに対し課題を感じた区民や学生が、そういう人が行かれる場を作りたいという思いで場を作っている。大学の先生・ゼミ生なども協力している。

● 地域の変化

中高生に直接声かけするなどして場を紹介しているので、つながりが途切れず思いを伝えられている。また学生が作る場では、SNS などを通じて呼びかけることで、同じ思いを抱える人が場を知って参加している。

② いどりぶれいす (目黒区)

● 内容・きっかけ

地域の子どもたちに美術館をもっと知って活用してほしいというニーズを住民がCSW※へつなげ、区内にある美術館と地域住民との協働による子どもの居場所を年数回開催している。参加者は子ども中心だが、サロン高齢者が来たこともあり、プログラムを支援する美術館ボランティアとの多世代交流も図られている。

● 地域の変化

学校に行き渋りのある子どもが実際に参加してくれ、色々な世代の大人と関わることでできる多様な居場所の一つとして役割を果たすことができた。

③ 愛宕アーケードカフェ、アーケードまつり (多摩市)

● 内容・きっかけ

CSW※が商店街の活性化、高齢化した団地での孤立防止を目的にシャッター商店街で交流できる場を月1回開催。住民の得意なことを披露したり、大学ゼミによる企画などを実施。年に1回、同地域でアーケードまつりとして、障がい者施設や企業の協力を得てイベントを実施し、多世代・多様性の交流の場づくりを行っている。

● 地域の変化

一人暮らし高齢者がアーケードカフェへの参加を通して地域住民とのつながりができ、活躍の場や孤立予防になっている。



- ▶ 住民同士のつながりづくりを支援するため、町会・自治会・民生委員等の関係者との連携だけでなく、**講座等を実施**することでより多くの住民とつながることを目指している。
- ▶ 「食」をツールに活用しながらつながりを広げている取組みも多い。
- ▶ **近隣住民が気になる方へ訪問したり電話する**などの住民同士の見守り活動に取り組んでいる社協もみられる。



こんなことに取り組んでいます (調査結果の一例)

① 宮前まちづくりの会 (杉並区)

● 内容・きっかけ

町会の無い地域で、地域の繋がりが必要と感じていた民生委員と地域住民を繋げ、宮前まちづくりの会を立ち上げる。共に協議を重ね、地域で顔の見える関係を作り、地域に根差した取組みとしていくこととなる。月1回、地元農家による地元野菜の即売会や地域の神社の宮司から話を聞くなどの、地域に密着した企画が、地域住民主体で続いている。

● 地域の変化

立ち上げ当初は、活動者の方達とチラシの全戸配布を行ったことで、地域での宮前まちづくりの会の周知は進んでいる。防災会もでき顔見知りの輪は広がっている。

② しらゆり見守りウォーキング (練馬区)

● 内容・きっかけ

近隣小学校1年生の下校時間に合わせて、白百合福祉作業所の利用者が安全を見守りながらゴミ拾いを行っている。障害者は見守られる側だけでなく、見守る側にもなるということを小学生に体感してもらい、障害者への理解を深めてもらう。

● 地域の変化

小学生が声をかけてくれる等コミュニケーションがうまれるようになっている。

③ 田中町住宅をもっと住みよくする会 (昭島市)

● 内容・きっかけ

協議体を立ち上げるにあたり、行政がこの地域をモデル地区として定め、アンケート調査を実施したことからスタートした。住民有志、地域包括支援センター、行政と一緒に毎月定例会を行い、暮らしやすい地域にするために話し合っている。

● 地域の変化

話し合いを重ねることで、自治会に頼るばかりではなく、住民同士のつながりや助け合い、見守りが必要であるという意識の変化が見られた。



- ▶ 物品の貸し出しだけでなく障害当事者等の講話や車いすや点訳等の体験などを取り入れている。
- ▶ 施設を訪問しての交流や施設利用者との年賀状等のやりとりなどに取り組んでいる例もある。
- ▶ 福祉教育を提供することで、自分たちで地域課題に取り組めるしかけづくりに発展するよう取り組んでいる例もみられる。



こんなことに取り組んでいます (調査結果の一例)

① 児童からお年寄りへの年賀状事業 (交流活動) (江東区)

● 内容・きっかけ

思いやりの心を育み、福祉やボランティア活動に関心を持つきっかけを作ることを目的として、年末に小学校4年生以上の児童からの年賀状を特別養護老人ホームを中心に区内の高齢者施設にお届けする。年賀状を受け取った施設は小学生へのお礼のメッセージを作成、社協でとりまとめて小学校へ届ける。(令和6年度は33校、16施設参加)

● 地域の変化

令和4年度までは実際の交流はなかったが、交流活動の異世代交流を通して、相互理解が深められた。

② Social Sketch Lab. (立川市)

● 内容・きっかけ

「ボランティア」という言葉では響かない大学生に対してアプローチするために開始。大学生を対象にメンバーを募集し、自分たちで地域課題や社会問題に向き合っていく。メンバーは、「立川で活動したい大学生」であれば在住などは問わず、学年や専攻も多様である。

● 地域の変化

学生が地域活動を主体的に行うことと、自分軸で世の中を見つめ、「成功」も「失敗」も共有できる場の醸成を目指している。学年も学校も専攻も異なる大学生が集まることにより、知らなかった自分の発見や、できないと思っていたことの実現を通じた自己肯定感の高まりなどがあつた。

③ ふくしえほん「あいとぴあ」(狛江市)

● 内容・きっかけ

市内の幼稚園、保育園に通う5歳児の幼児を対象とした福祉の教材。毎月1枚と防災特集号の年間13枚のシートからなり、シートにはそれぞれ異なるテーマがあり、それらを1年間クリアファイルに集めると26ページの一冊の絵本が出来上がる仕組み。

● 地域の変化

市内の幼稚園、保育園にはふくしえほんが浸透し、ふくしえほんを活用して福祉教育が行われている。



- ▶ 災害に関する講座や災害ボランティア養成講座、災害ボランティアセンター立上げ訓練、まち歩きなどに取り組んでいる。
- ▶ 社会福祉施設や自治会・民生委員をまきこんだネットワークづくりやイベントの開催も行われている。
- ▶ 災害時に助け合えるよう、平時からもつながりづくりをすすめている。



こんなことに取り組んでいます (調査結果の一例)

① 災害福祉サポーター制度 (世田谷区)

● 内容・きっかけ

「地区サポーター」の活動内容のひとつに「災害時の活動」を含んでいたが、令和7年度より、要綱の見直しとともに災害福祉サポーター制度を新設した。災害時に支援が必要な方の安否確認やニーズ把握を社協職員と連携して行うことを目的として、平常時から活動を想定した訓練や交流会等を通じた顔の見える関係づくりを行っている。

● 地域の変化

地域ごとに「災害福祉サポーター交流会」を開催しサポーター同士のつながりづくりを行うことで、身近なエリアでの防災意識が高まりつつある。

② みんなでいのちを守るプロジェクト (MIM pj) (豊島区民)

● 内容・きっかけ

災害関連死の実態から見えてくる課題について、「住民と共に考え、備えをしていくことが身近な人々の命を救うことにつながる」という観点から、町会や民生委員・児童委員協議会、区民ひろば運営協議会、防災フェス、様々なサロン活動者となつたり、職員（災害支援コーディネーター）を中心に、災害講話と住民との対話を実施。（令和6年度22か所、延204名参加）

● 地域の変化

被災した際の生活をイメージしながら、住民同士で対話、共有することができた。災害→備蓄、防災→消火器訓練などのイメージが強かった参加者からも、災害関連死を防ぐためには、近くにいる人への声かけや気遣い、平時からのつながりづくりや心がけが大事であるとの声が聞かれている。

③ 住民向け防災講座 (八王子市)

● 内容・きっかけ

令和元年台風19号の際に被災したのがきっかけで、地元ボランティアの養成、被災を風化させないこと、地域のつながりを作ることを目的に毎年取り組むことが重要であると実感した。被災地域では小学生を対象とした防災まちあるきを実施。

● 地域の変化

被災経験のない小学生・保護者を対象とした事業を実施し、被災経験を伝えていくとともに社協とつながりの少ない層との接点を作れたと感じている。



- ▶ ひきこもりや不登校、障害者など分野別での取組みに加え、**区市町村内の社会福祉法人ネットワークや企業、プロスポーツチーム、農園、図書館等まちの中のさまざまな資源と連携して取組みを展開している。**
- ▶ 参加したい人と参加できる場を「つなぐ」支援であるため、**地域福祉コーディネーターやCSW※¹**等が本人の得意なこと、好きなことをきっかけに伴走しながら一歩踏み出す支援をおこなっている。



こんなことに取り組んでいます (調査結果の一例)

① 就労体験プロジェクト (中野区)

● 内容・きっかけ

社会参加や就労の体験の場の必要性を感じ、中野区内社会福祉法人等連絡会へ提案。加入している施設等に、資格がなくてもできる簡易な事務作業等をプログラムとして提供いただき、2～3時間程度の体験の場を作っている。

● 地域の変化

就労体験から、実際に短時間就労につながった方や謝礼金を渡すことにより、モチベーションアップにつながった方もいた。施設・事業所側もコミュニケーションやプログラムの工夫など、支援につながっている。

② はじめの一步 (瑞穂町)

● 内容・きっかけ

支援者(相談員やSSW※²等)から相談が入り、「気軽にできる」ことを目指し、障がいがある方の社会参加や、不登校の生徒が地域に出る機会としてボランティア活動と体験を行う。地域の方の協力のもとでの農作業の体験や、ボランティアセンターで好きな時、好きな時間でできる活動を実施。

● 地域の変化

ひきこもりだった方がボランティア活動に積極的に参加するようになったこと。

③ 障がい者等清掃ボランティア受け入れ事業 (利島村)

● 内容・きっかけ

障がい者が清掃業務を通じて社会参加できる機会を創出し、新たな関係性の構築やご本人に“社会に参加している”実感を得ていただくことで、利島村のソーシャルインクルージョンを推進すべく事業を開始した。

● 地域の変化

本人が自分の仕事として責任を持ち、工夫しながら清掃に取り組む様子が見られている。島民からその姿に対して「ありがとう」と声をかけていただくこともあり、より良い関係構築にもつながっている。さらに、行政から公共施設の清掃業務の委託を受けることもできたことで、事業の安定運営および発展にも寄与している。

※ 1 CSW…コミュニティ・ソーシャル・ワーカー

※ 2 SSW…スクール・ソーシャル・ワーカー



- ▶ コロナ禍で複雑化した多様な課題をもつ住民とつながり、それがきっかけでフードパントリーや相談支援、コロナ特例貸付のフォローアップ支援などを継続している取組みもみられている。
- ▶ 区市町村内のさらに小さな生活圏域で住民や関係機関との連携が活発化している。
- ▶ さまざまなネットワークを通じて、子ども・若者支援やひきこもり支援、生活困窮者支援など今まで接点のなかった層への支援にも取り組んでいる。



こんなことに取り組んでいます (調査結果の一例)

① コロナ特例貸付フォローアップ支援任意事業 (新宿区)

● 内容・きっかけ

特例貸付借受人のうち、償還遅延の理由や生活状況が掴めていない人について、生活状況とニーズを把握し救済制度利用等の案内や、生活の改善に向けた総合的な相談支援につなぐため、社協職員が個別訪問（アウトリーチ）を行っている。

● 地域の変化

事前告知したうえで訪問しても、不在や連絡がつかない人の割合が多く、アプローチの難しさはあるが、相談対応できた人の中には救済制度利用につながった人もいる。つながりにくい人とつながり、個々の状況に応じた支援の入口になっている。

② たすけあいプラットフォーム事業 (大田区)

● 内容・きっかけ

当社協は地区社協をもたないため、地域福祉コーディネーターの配置をきっかけに事業を開始した。社協で一方向的に計画せず、住民のニーズをきっかけとしたプラットフォームの開催を仕掛けている。住民同士が地域課題について話し合い、地域課題解決のための活動を行ったり、良くするための活動を行っている。

● 地域の変化

地域の住民が自ら、地域課題について気づき、把握して活動の必要性について議論するようになった。多くはないものの当事業から新たな活動が複数生まれている。

③ 小型中古家電 (主に炊飯器) 等の提供 (武蔵村山市)

● 内容・きっかけ

フードバンク事業では、炊飯器を持っていないという相談者が相当数おり、食事の内容や生活力に課題を感じるが多かった。令和7年度から炊飯器等がないことによりお米が活用できない世帯に対して、中古炊飯器等を用意し、必要な方に提供。中古小型家電は、遺品整理を行う市内企業と、入所手続き支援や死後事務等を行う市内 NPO 法人の協力で提供していただいたものを活用している。

● 地域の変化

生活保護につながるまでの期間という相談時に、炊飯器がない方に提供することができた。その他、相談支援機関より、長期入院から在宅復帰する際に、炊飯器が使うことができない状態となっているという相談が入っており、ご活用いただく予定である。

都内区市町村社協で把握されているニーズのうち、 取り組む必要性が高いと考えていること

1位 地域とつながりがない人への取組み

コロナ禍を経て地域とのつながりがない人も多くなり、「つながりづくり」を求められていると感じている社協が多いと考えられる。

2位 地域住民の活躍したい・なにかやってみたい気持ちを形にする取組み

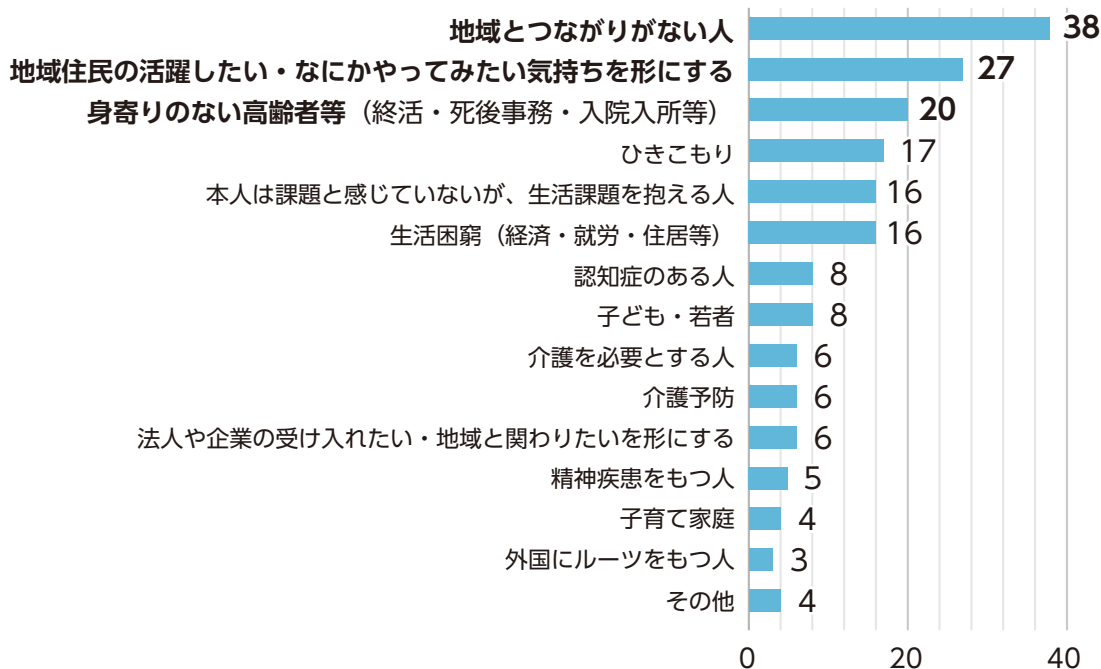
地域共生社会づくりをめざすにあたり、困りごととしての地域課題だけでなく、「得意なことで活躍したい」「なにかやってみたい」という思いを活動につなげ、支える・支えられるをこえた関係づくりをめざしている社協が多いと考えられる。

3位 身寄りのない高齢者等への取組み

現在、国でも検討されている「身寄り」の課題について、高齢期だけでなく幅広い世代で「身寄り」の有無に関わらず自分らしく安心して暮らせる地域社会づくりに貢献できるよう検討したい社協が多いと考えられる。

結果一覧

※各社協で取り組む必要性が高いと考えていること3つを選択



都内の区市町村社協の地域課題への取り組み状況

(この一覧はアンケート調査を元に作成しており、各社協のすべての事業を掲載しているわけではありません。)

取組み 01 居場所づくり・多世代交流

取組み 02 見守り・つながりづくり

取組み 03 福祉教育

取組み 04 災害対応・防災にむけた取組み

取組み 05 就労支援を含む参加支援

取組み 06 その他の取組み

区市町村社協部会では、隣接する区市町村社協を11の圏域(ブロック)に分け、連携をはかっています。

奥多摩町

- 傾聴ボランティア
- 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練
- 高齢者筋力向上トレーニング

青梅市

- 地域サロン等の立ち上げ支援
- 福祉教育(白杖・車イス・手話の体験学習)
- 災害ボランティア養成講座

瑞穂町

- 誰でも集える居場所づくり
- つながり運動、みずほつながりたい
- 福祉の心育成事業
- 災害ボランティアセンター運営事業
- はじめの一步
- ささえあいフードリレー

檜原村

- 高齢者と小学生とのふれあい給食会
- ふれあいサロン
- 小学生福祉講座
- 防災セミナーや災害ボランティア講座及び災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

羽村市

- 小地域ネットワーク活動
- 小地域ネットワーク活動
- 福祉体験教室
- 自然災害発生時における業務継続計画(BCP)の策定、防災訓練の実施
- 福祉のしごと相談・面接会

福生市

- 福祉センターを使用した、こども食堂
- 小地域福祉地区への伴想的な参加支援
- 福祉体験事業
- 防災講座、災害ボランティアセンター設置運営訓練

日の出町

- 福祉教育(車いす体験、当事者や施設職員からの話)

あきる野市

- ふれあいサロン事業
- 小地域福祉活動事業(ふれあい福祉委員会事業)
- 学校授業への調整及び協力(事業)
- 災害ボランティアセンター事業

利島村

- 地域農園「みんなで農園 さくらゆり」
- 村内緑化事業(老人会活動を通じた花壇整備)
- 障がい者等清掃ボランティア受け入れ事業
- 脳の健康教室

新島村

- ひだまりサロン
- 高齢者等見守り相談窓口/ひだまりサロン/福祉バザー
- 高齢者疑似体験
- 避難行動要支援者名簿
- 障害者とともに働く場の創出事業

大島

- 大島食堂

神津島村

三宅島

- 三宅島高齢者ふれあい会食会
- 高齢者熱中症対策事業
- 福祉教育

御蔵島

- 乳幼児とその親を対象とした、当法人施設開放
- 相談業務(無料)
- 小中学校から、職場体験の依頼に快く応じる。当法人の見学や利用者様との交流。
- 日本赤十字社主催の救急講習会の開催

青ヶ島村

武蔵村山市

- 生きづらさを抱えた当事者の居場所「ココカラサロン」及び「サナギ」/「切手整理サロン」/高齢者を中心とした「お互いさまサロン」
- 「グリーンサポート講座」・「家族のためのひきこもり学習会」の開催/「スタディドライブ」の実施
- 小中学校等に対する車いす体験、疑似体験等/「お互いさまサロン」や協議体参加者と小学生の多世代交流
- 民生委員との協働による訓練
- 社会とのつながり回復支援
- 小型中古家電(主に炊飯器)等の提供

東大和市

- One's ふれいず
- 見守り・声かけ活動
- 児童・生徒向けの福祉教育/福祉標語募集/夏!体験ボランティア等
- 災害ボランティアセンター協議会開催/災害ボランティアセンター設置・運営訓練/災害対策チームの活動など
- ふれあいのまちづくり事業(ふれあいなごやかサロン)/生活支援・介護予防推進事業

立川市

- 地域福祉アンテナショップ
- 支えあいサロン
- Social Sketch Lab.
- 防災委員会を設置/災害対策ネットワーク会議の開催
- 市内社会福祉法人での参加支援

昭島市

- 昭島ふれあいほっとサロン事業/東中神多世代交流プロジェクトみんなのひろば
- 田中町住宅をもっと住みよくなる会
- 福祉教育 ともに生きる力
- 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練
- 認知症サポーターの会

稲城市

- 生きづらさを抱えた女性の居場所「さくらんぼ」
- ふれあいセンター
- 災害ボランティアセンターの設置・運営訓練、講座
- フードドライブとフードパントリー

多摩市

- 愛宕アーケードカフェ、アーケードまつり
- ざっくばらん座談会とミニ講座
- 障害者と共にひととのき/総合学習
- 災害ボランティア講座・災害ボランティア訓練の実施、災害ボランティアの登録等、災害時要配慮者の啓発
- リサイクル封筒づくりボランティア活動(ひきこもり当事者の受け入れ)
- 障害当事者の居場所づくりおよび支援ボランティアの養成

八丈町

- よりあい事業(サロン)/福祉交流会
- スクール出前
- 八丈町ささえあいセンター「あすなろ」

小笠原

- 居場所づくり事業
- 食事サービス
- 赤い羽根共同募金運動
- 上級救命講習会の実施
- 自立支援事業

清瀬市

- ひきこもり家族サロン
- ヒューマンライブラリー
- 社会福祉法人の連携事業による「はたらく相談会」

東村山市

- サロン・スタッフ交流会
- 地域ネットワーク活動の支援
- 福祉学習(高齢者疑似体験、当事者による講話等)
- 東村山災害スタッフボランティア会
- ひきこもり家族会オアシス
- eスポーツ・ゲーム大会

小平市

- オレンジカフェ中央/ほのぼのひろば
- 包括見守り事業/見守り電話事業
- 福祉体験学習
- 災害ボランティアコーディネーター養成講座/災害時における協力に関する協定書の締結
- JOY!JOB KODAIRA

国分寺市

- 生きづらさを抱える当事者会「ぼかばかてらす」/生きづらさを支える家族会「おひさまてらす」
- 見守り訪問事業
- ふくし体験プログラムの実施
- 「国分寺青年会議所」との合同災害VC立上訓練
- MyステップJob(ちょいジョブ)
- 生活応援事業

国立市

- くにたちまごころサロン事業/小地域福祉活動
- くにたち福祉サポーター
- 福祉出前講座/くにっ高生(こうせい)
- 災害ボランティアセンターの普及啓発

小金井市

- 依存症の方の居場所「三光院にいこう」
- ふれあいいきいきサロン
- 車椅子体験・視覚障害者体験
- 災害ボランティアミーティング
- 高齢者施設の清掃活動
- 居場所プロジェクト

府中市

- ふれあいいきいきサロン事業 サロン交流会
- なんでも相談員
- 出張ボランティア/ボランティア活動紹介展
- 防災まちあるき/はじめての災害ボランティア講座/災害ボランティア市民スタッフ養成講座/災害ボランティア設置運営訓練
- わがまち支えあい協議会

狛江市

- 多世代・多機能型交流拠点 ふらっとなんぶ
- 小地域福祉活動
- ふくしえほん「あいとぴあ」
- 避難行動要支援者が安心して生活できる地域をつくる
- ストリートロード
- おたのしみスロショッピング

練馬区

- オープンスペースの開放/米米くらぶ/下石神井空き家活用プロジェクト/トリアングル・ゼミの実施
- こどもまんかネット/しらゆり見守りウォーキング
- 中高一貫校のサークルのフードドライブ活動で集めた食料の受け取り/「見て”聞いて”体験しよう”福祉の世界/交流事業/福祉学習への協力、かたくり探検ツアー/企業や特別支援学校に向けた就労支援や障害理解の研修
- 災害ボランティアセンター立上げ・運営訓練
- 福祉のまちづくりの推進/ねりま社会福祉法人等ネット 就労体験/リリーふぼーと

杉並区

- はじまりの種 居場所を考える会
- 宮前まちづくりの会への支援
- 福祉体験用具貸出・福祉学習事業/フードドライブの講話および実施
- 災害ボランティアセンター事業
- 障害により社会参加が難しくなった美大出身者の絵をアート展にて展示/中間的就労の受入先拡大に向けた取組

東久留米市

- みんなのえんがわプロジェクト
- 東久留米市災害ボランティアセンター市民スタッフの会
- ひがしくるめひきこもり家族会

西東京市

- みんなの居場所「地域の緑側プロジェクト」
- ほっとネット推進員の育成
- 市内小中学校におけるボランティアの受け入れに関するアンケートの実施
- 災害ボランティア養成講習会の実施
- 地域福祉コーディネーターの相談対応

武蔵野市民

- 身近な地域の居場所づくり助成・支援事業
- 次世代プロジェクト
- 防災ボランティア訓練

三鷹市

- 子育て世代の居場所づくり
- 三鷹不登校の子どもと保護者サポートネットワーク
- 中学校で多文化共生の出前講座の実施
- ご近所防災ひろばの開催
- ひきこもりの方がアートで表現を楽しむ居場所づくり
- ひきこもり支援者連絡会&合同相談会

調布市

- シニアクラブ連合会事務局・小地域交流事業、調布市子ども・若者総合支援事業ここあの運営/ひだまりサロン事業、地域の居場所「野ヶ谷の郷」
- ふれあい給食・高齢者会食、電話訪問/生きづらさを抱えた方及び家族の当事者会「福布やばばうしの会」/「ちようふのこやど」[調布女子会のまじ]・ちようふチャリティウォーク
- 調布サマーボランティア
- 災害ボランティア養成講座
- 生活困窮者自立相談支援事業における就労支援、シニアクラブ連合会事務局/重層的支援体制整備事業 参加支援事業/調布まち活フェスタ

板橋区

- 子どもの食・居場所支援事業/福祉の森サロン活動支援事業/「食」からつながる応援プロジェクト
- あなたのいい街パトロール
- コミュニティカフェ「こころカフェ」
- いたばし社連による災害時等の支援体制構築と長泉町との広域連携の推進
- 地域つながり隊推進事業

豊島区民

- 豊島区民ひろびる要(高齢者利用が多い施設)の地域の不登校児童を中心とした子ども居場所づくり
- としまお米パントリーの連携実施
- 赤い羽根共同募金 中学校生徒会との連携街頭募金
- みんなでいのちを守るプロジェクト(WIM pj)
- 各事業において随時実施
- ぶらっと

中野区

- まちなかサロン及び居場所づくり事業
- 活動のすそ野を広げる(若い世代へのアプローチ)
- 災害ボランティア講座等の開催
- 就労体験プロジェクト
- フードパントリー事業

渋谷区

- スペースノボル(居場所)/渋谷区こどもテーブル/サロン交流会、フリープログラム
- 横のつながりを作る会(こどもテーブル、居場所づくり団体)
- 夏・体験ボランティア/各種教育機関での福祉教育/区内企業等での職場体験/津田塾大学学生との協働によるティンズタウンページ作成
- 防災キャラバンへの参加/災害ボランティアに関する啓発・養成/災害ボランティアセンター設置運営への協力/避難訓練、不審者対応訓練
- おひさまプログラム

世田谷区

- 地域支えあい活動
- 多世代交流の居場所づくり
- せたがやゼミナール(子どもの学習支援)
- 災害福祉サポーター制度
- 市民緑地環境整備活動/図書館ボランティア
- 国際交流

目黒区

- いどりふれいず
- 食支援団体の情報交換会
- 福祉体験学習/夏体験ボランティア
- 災害ボランティア関係団体情報交換会の開催
- こもりびとカフェ

大田区

- 子どもの居場所づくり事業 のびのび
- ひなたぼっこCafé
- 福祉教育セミナー/福祉体験学習
- 災害ボランティアセンター設置に向けた準備
- 外国籍住民を含めたコミュニティ会議
- たすけあいプラットフォーム事業

北区

- 福祉学習プログラムの実施
- マリンブルー(社会参加に支援を要する方たちの居場所)
- 子ども若者応援基金による助成事業

文京区

- 多機能な居場所「つどいへの」
- みまもり訪問事業
- 福祉学習/夏のボランティア体験
- 災害ボランティア設置訓練
- 地域の課題解決の場「サロンばらす」

新宿区

- 居場所づくりの支援
- 食を通じた見守り、会食会の支援
- 社協部会
- 災害時のボランティア活動に関する取組み
- 社協事業への参加(高齢者の見守り、施設ボランティア等)
- コロナ特別貸付フォローアップ支援任意事業

千代田区

- ふらっとちよだ〜みんなのセカンドリビング〜食と居場所の学習会
- CSW 地域支え合い学習会/ちよむすび(地域福祉プラットフォーム)/町会福祉部連絡会/模型サロン
- 区内大学ボランティア・社会貢献活動等担当者連絡会/認知症サポーターキッズ養成講座×企業×児童館
- 災害時寄り添いサポーターの養成/防災まちあるき/防災ボランティアフォーラム
- 「こんな居場所、あったらいいな」〜ちよだでつくる、みんなの居場所のカたち〜/自立訓練施設と連携した毎月のお便りの発送作業
- 子ども服おゆすり交流会

中央区

- 地域活動拠点「多世代交流スペースはまるむ」の運営
- ささえあいサポーター養成講座の開催
- 大学への出前体験講座の実施
- 災害ボランティア入門講座/災害ボランティアセンター運営訓練

港区

- 地域福祉活動参加促進事業 地域福祉活動・ボランティア活動「パワーアップ塾」/中高生・中高生以降の若者の居場所づくり
- ふれあい講習会/夏体験ボランティア
- 災害ボランティア活動の推進(災害ボランティア講座、災害ボランティアまち歩き、災害ボランティア設置運営訓練・災害ボランティア登録)
- 超短時間就労体験(ひきこもり相談対応者)*試行実施

品川区

- よりみち
- ほっと訪問・ほっと電話
- 日野要ほっとステーション
- 災害ボランティアセンター設置運営訓練/防災まちあるき

荒川区

- ふれあい絆・活サロン
- ふれあい絆・活サロン
- サマーボランティアスクール
- ユニバーサルウォーク
- ひきこもり支援事業居場所づくり事業「ごろリンク」
- あらかわ子ども応援ネットワークへの支援

台東区

- アソビバ2025
- おきを活用した外国にルーツがある小学生の居場所づくり
- アソビバ2025
- 町会から派生する防災ボランティア・見守りグループ活動の支援
- 障害福祉事業所×銭湯
- 店舗型の子ども食堂の支援

足立区

- ふれあいサロン交流会/担い手、活動場所の発掘に関する調査/共食の場の支援/荳福連携の実践基盤構築に向けたアートプロジェクト
- 見守りパトロール
- 福祉出前講座
- 災害ボランティア研修/災害ボランティア設置訓練
- 若者・ひきこもり参加支援懇談会/参加機会創出のためのワークショップ

葛飾区

- 居場所づくり事業
- さりげない見守り活動
- 福祉・ボランティア出前講座/福祉教育推進協力支援/小学生ボランティア活動体験/中高生ボランティア交流会
- 災害ボランティア登録/災害ボランティア講座/かつしか災害支援三者交流会

墨田区

- 地域福祉プラットフォーム事業
- 小地域福祉活動推進事業
- 学校向けボランティアスクール
- 災害ボランティア養成講座
- 包括的支援体制整備事業(地域福祉プラットフォーム事業)

江戸川区

- なごみの家の運営
- なごみの家の運営・見守り支援活動
- 江戸川減災ツナガル会議
- ひきこもり相談会など

江東区

- 社協カフェ
- ふれあいサービス・ファミリー・サポート事業・ホームスタート事業/高齢者地域見守り支援事業
- 福祉体験・ボランティア学習/児童からお年寄りへの年賀状事業(交流活動)
- 災害ボランティアセンター設置運営訓練/災害ボランティア養成講座
- 地域福祉サポーター制度/募金やフードドライブ活動等を通じて企業や団体とつながる